手渡したいのは青い空

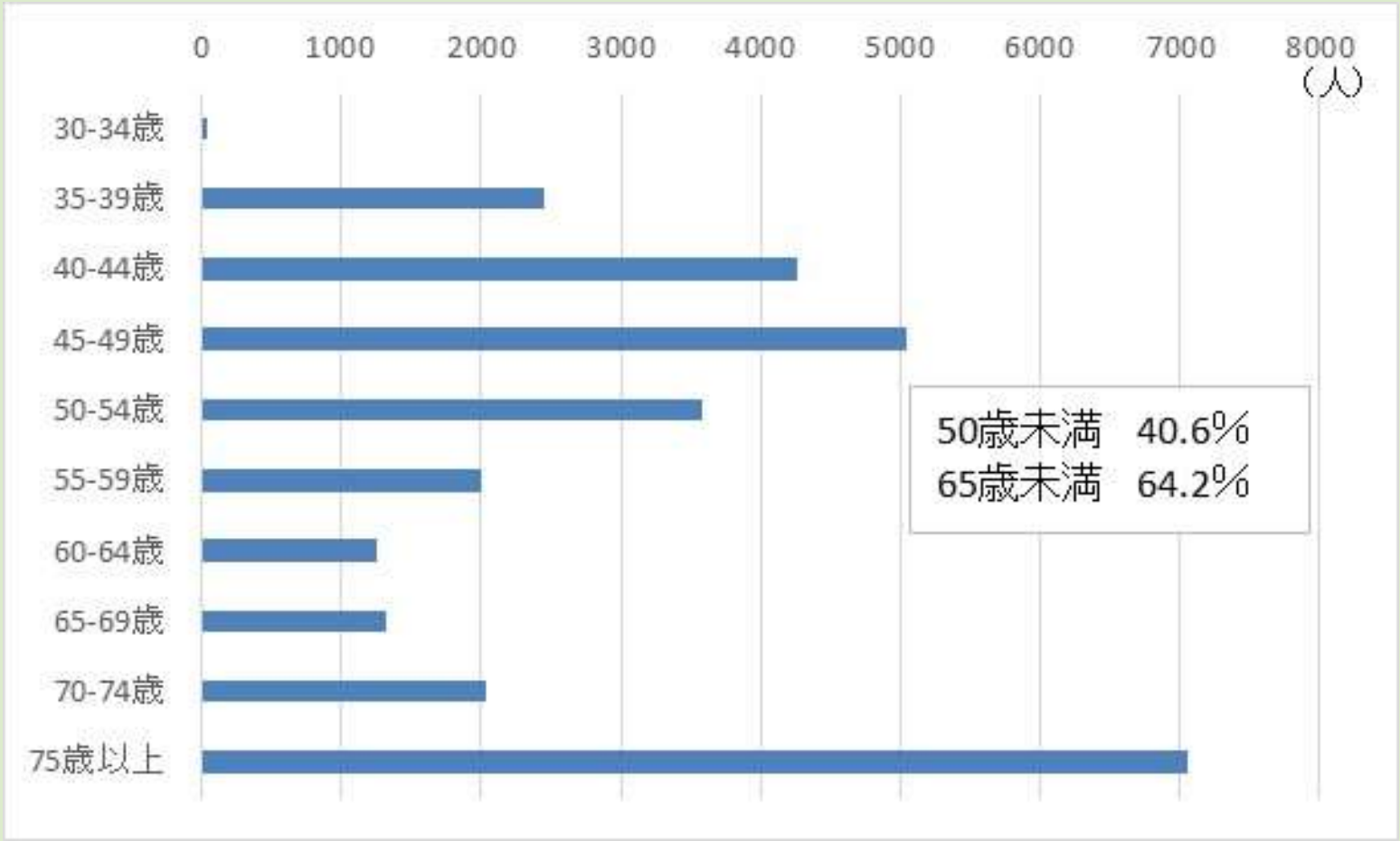
原告からの提案

西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会

2025年3月12日（水）

大気汚染患者の状況について

- 全国の公健法被認定者数（大気汚染）は約29,000人
- そのうち非高齢者は64%



大気汚染患者(30～50代)の状況について

- 就労に与える影響
  - 疾病が仕事に差し支える。
  - ぜん息のため正規職を諦めた人も。
  - 発作のために退職を促された人も。
  - 収入が不安定：自営業、非正規の人は発作が仕事の減少に直結する
- 日常生活における不安
  - 将来の体調悪化、ステロイドの副作用
  - 症状のために人付き合いを差し控えている人も

公害患者を含め誰もが安心して暮らせる、
大気汚染患者を生まない
持続可能な環境・社会を目指す

提案の概要

大気と交通の現状

- 二酸化窒素（NO2）濃度、PM2.5の推移
- 国道43号の交通量
- 環境ロードプライシングの概要

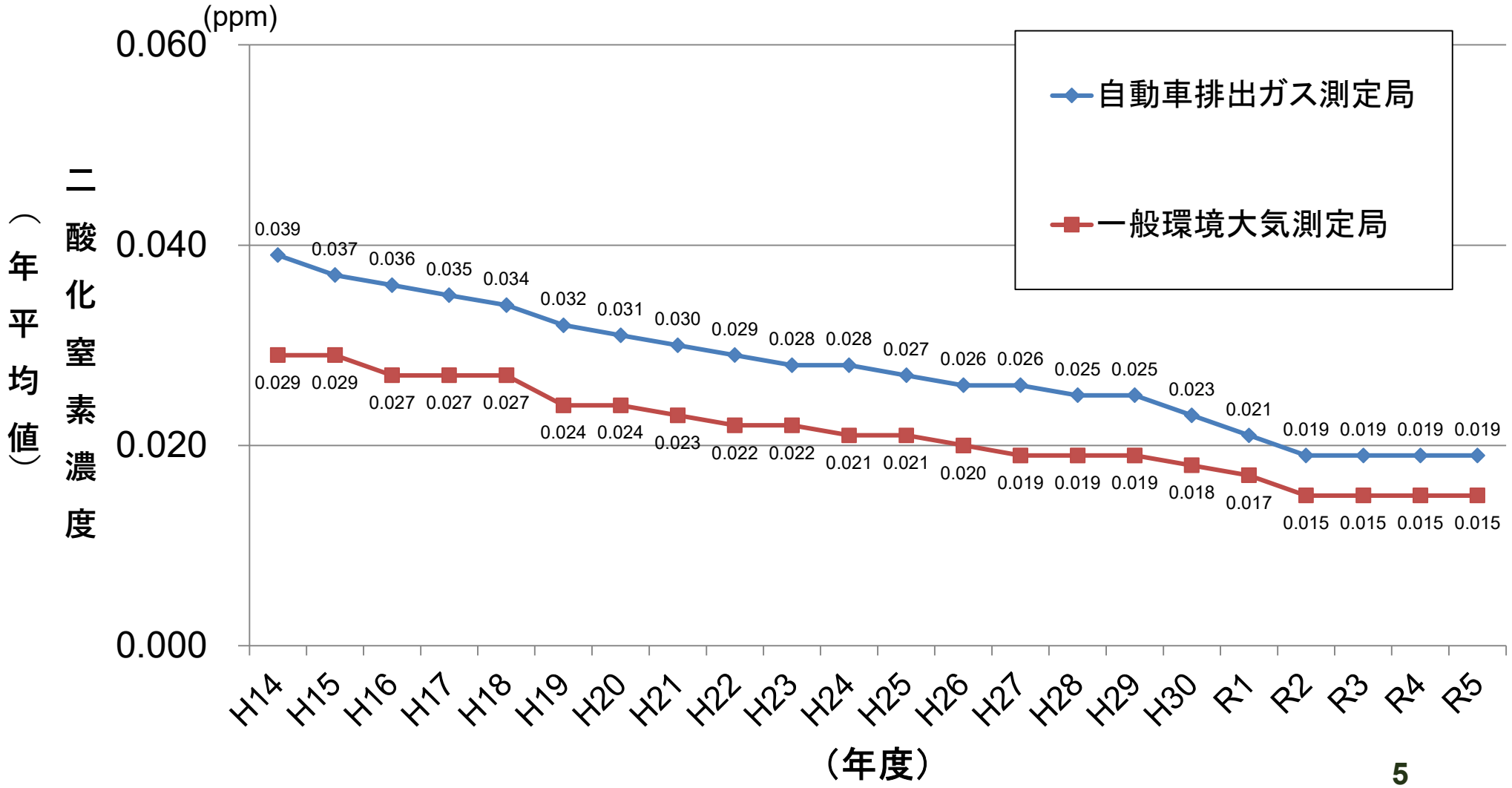
原告からの提案

- 提案1　大型車と交通量削減を！
- 提案2　歩行者・自転車にやさしい交通環境対策を！
- 提案3　歌島橋交差点についての改善
- 提案4　国道43号沿道環境を考える実務者WGの継続
- 提案5　大気環境の改善の要因検証を！

大気と交通の現状

NO_2濃度の推移　①大阪市平均

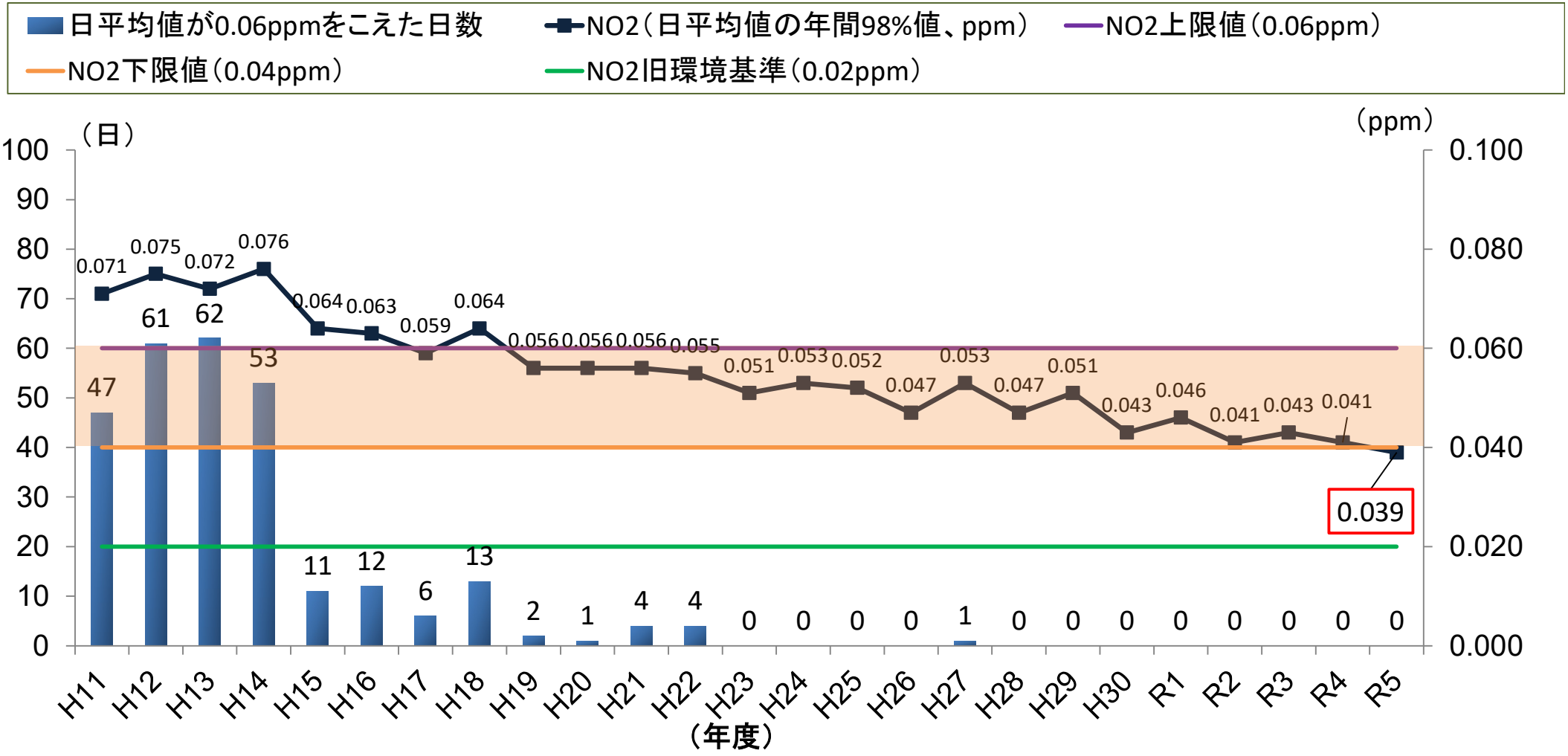
- 経年的に、ゆるやかな減少傾向にある



大気と交通の現状

NO_2濃度の推移　②西淀川区出来島

- 令和5年度は**0.039ppm**。下限値を下回る



測定局：出来島小学校

NO_2の環境基準について

当初の環境基準（1973年5月8日告示）

1時間値の日平均98%値**0.02ppm**以下

大幅に緩和

現行の環境基準（1978年7月11日告示）

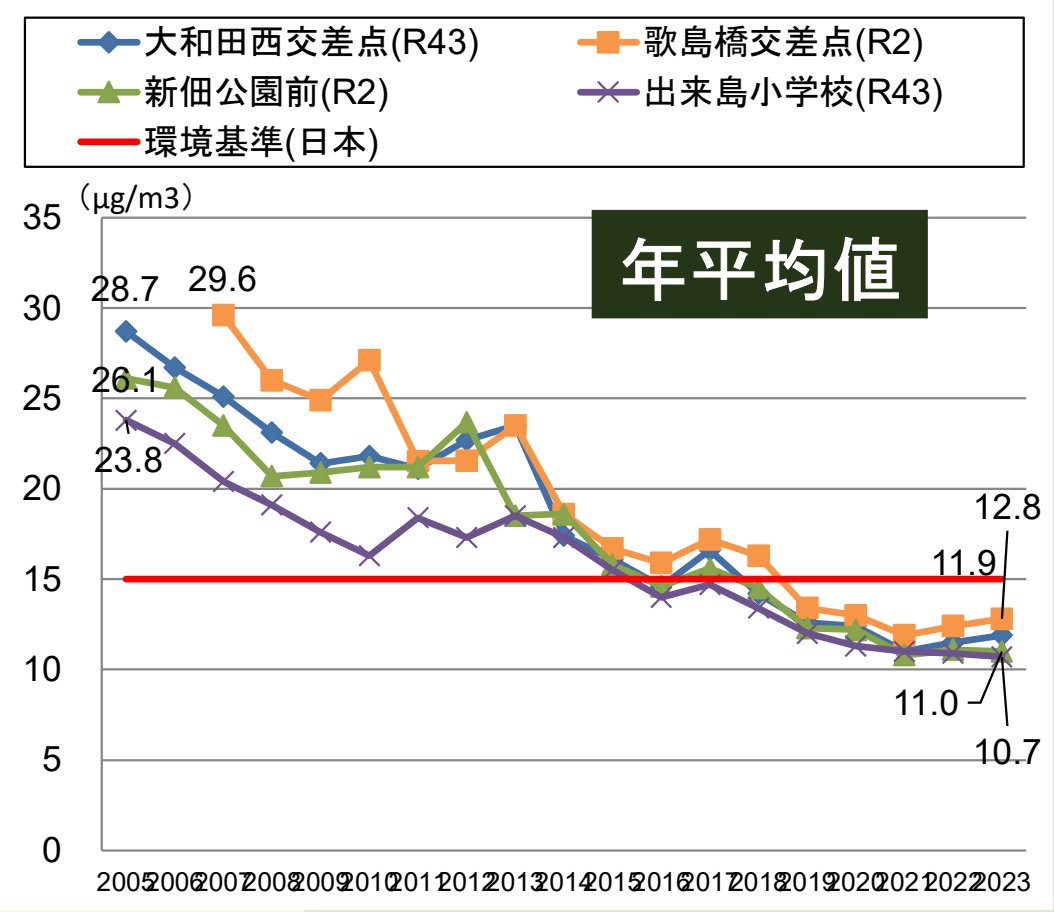
1時間値の日平均98%値**0.04～0.06ppm**のゾーン内またはそれ以下

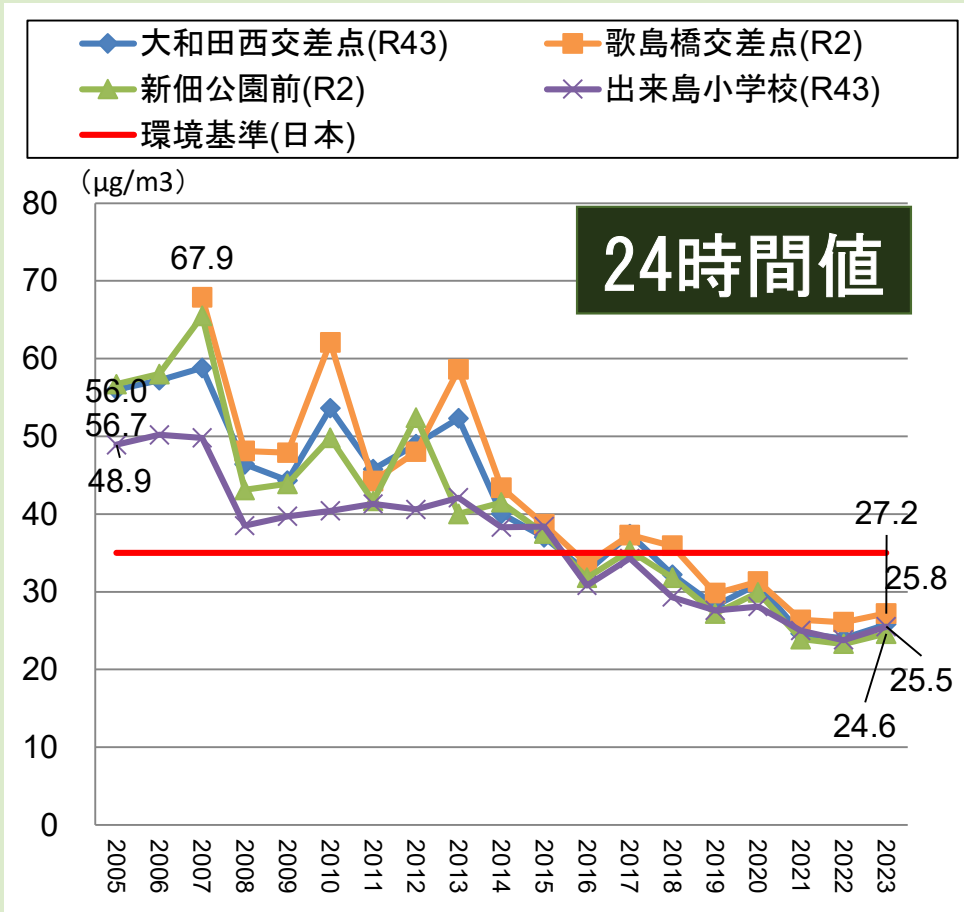
- 0.06ppmを超える地域は7年以内に0.06ppm達成に努める
- ゾーン内、または0.04ppm以下の地域は原則として現状程度の水準維持または大きく上回らない

大気と交通の現状

PM2.5の環境基準の安定的達成に向けた対策

- Ｒ１、R2、R3年度に引き続き、R4年度もすべての測定局で環境基準値を下回っている

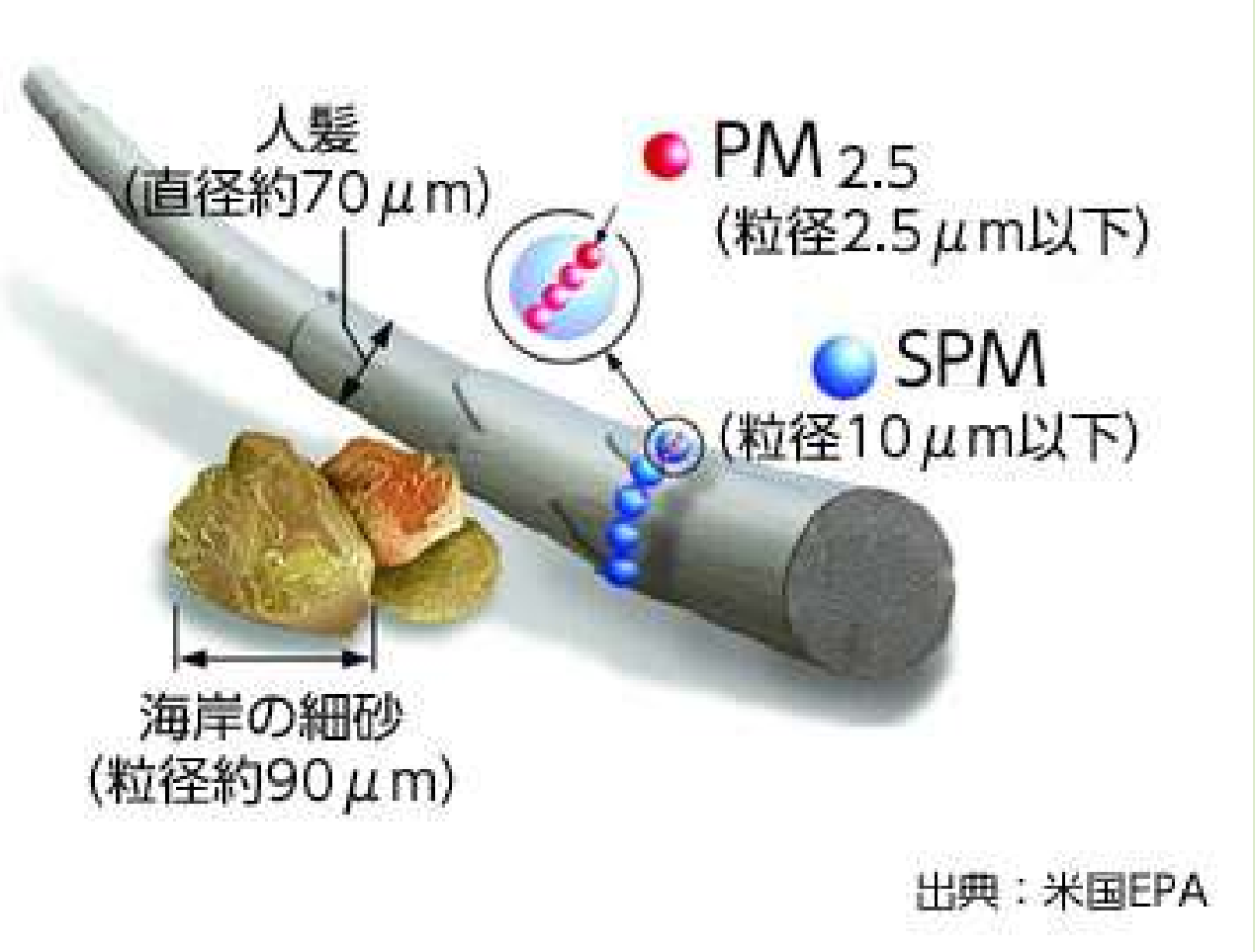




PM2.5の環境基準の安定的達成に向けた対策

PM2.5とは

- 大気中に漂う浮遊粒子のうち**粒径2.5μm以下**の小さなもの
- 肺の奥まで入りやすく、**健康影響**の可能性が懸念
  - 呼吸器系
  - 循環器系
  - 肺がん



大気と交通の現状

PM2.5の環境基準の安定的達成に向けた対策

PM2.5の環境基準

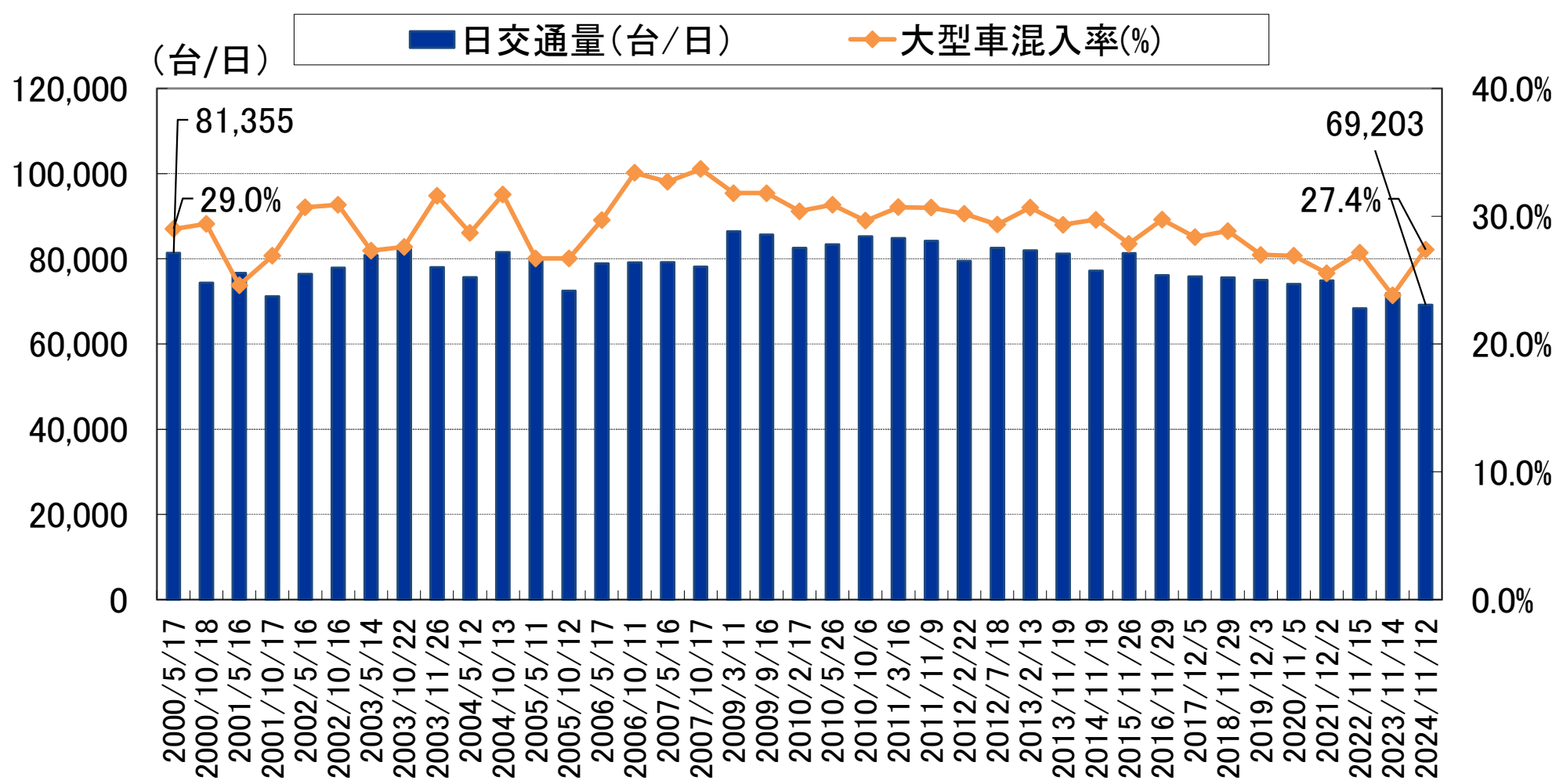
- 2009年9月にPM2.5の環境基準を設定（環境省）
- 2021年WHOが基準を厳格化

	年平均値	日平均値
日本	15μg/m³	35μg/m³
アメリカ	12μg/m³	35μg/m³
中国	35μg/m³	75μg/m³
WHO（新基準）	5μg/m³	15μg/m³

PM2.5の環境基準達成を継続するために
・ディーゼル自動車の交通量の減少
・自動車交通量の総量の減少
に関する交通対策が必要

国道43号の交通量

- R6年　全体の交通量は昨年度より微増、
- 大型車交通量、混入率はR5より増加



現況の環境ロードプライシングの概要

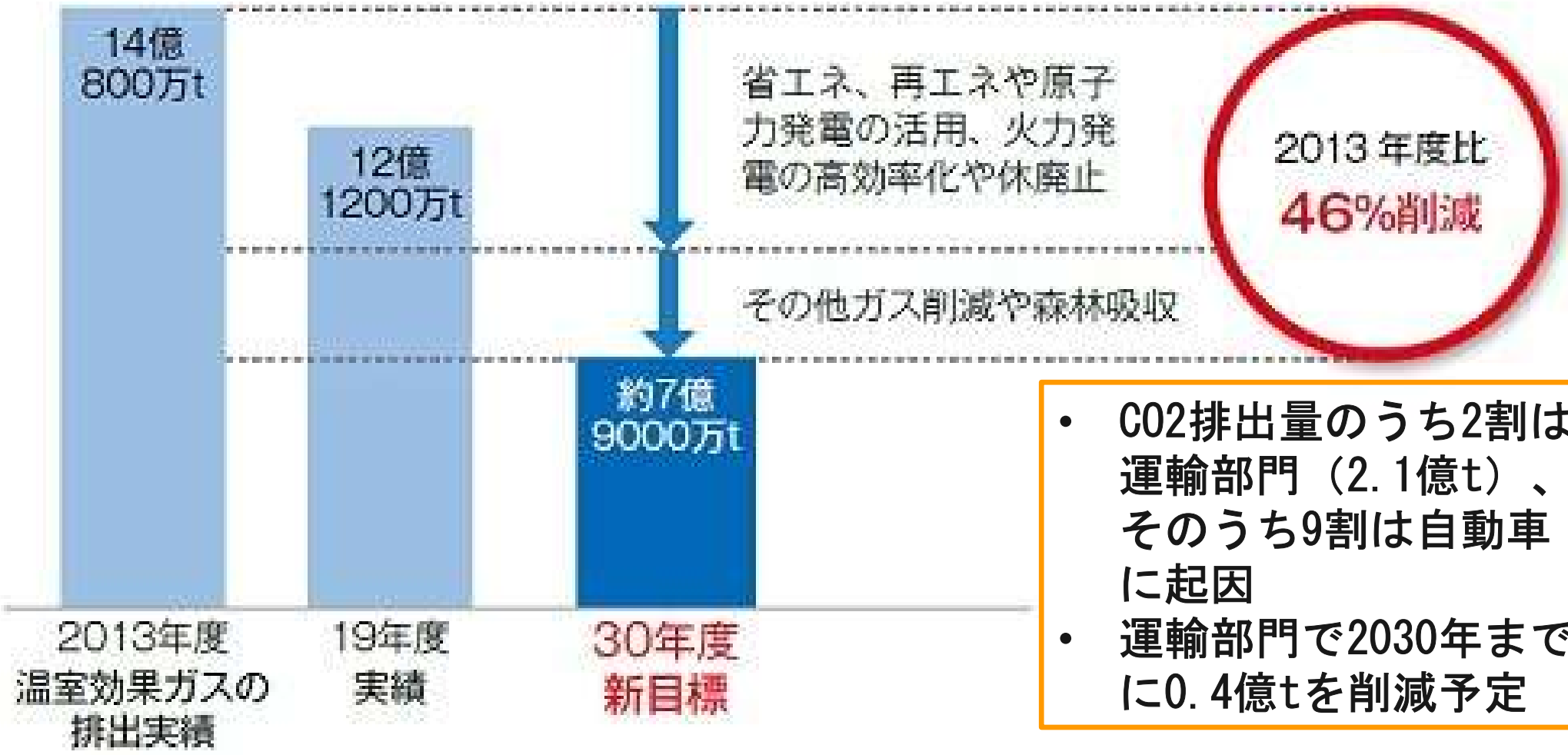
※近畿整備局資料より

提案の概要

大気と交通の現状	二酸化窒素（NO2）濃度、PM2.5の推移
	国道43号の交通量
	環境ロードプライシングの概要
原告からの提案	提案1　大型車・交通量削減を！
	提案2　歩行者・自転車にやさしい交通環境対策を！
	提案3　歌島橋交差点についての改善
	提案4　国道43号沿道環境を考える実務者WGの継続
	提案5　大気環境の改善の要因検証を！

脱炭素社会の実現　2030年温室効果ガス46％削減目標

■ 2030年に向けて大幅削減が必要になる



- CO2排出量のうち2割は運輸部門（2.1億t）、そのうち9割は自動車に起因
- 運輸部門で2030年までに0.4億tを削減予定

環境省：「中央環境審議会地球環境部会（第147回）資料」（2021.4.28）

脱炭素社会に向けた道路施策を！

脱炭素社会に向けた取組は、大気汚染改善に大きく寄与する

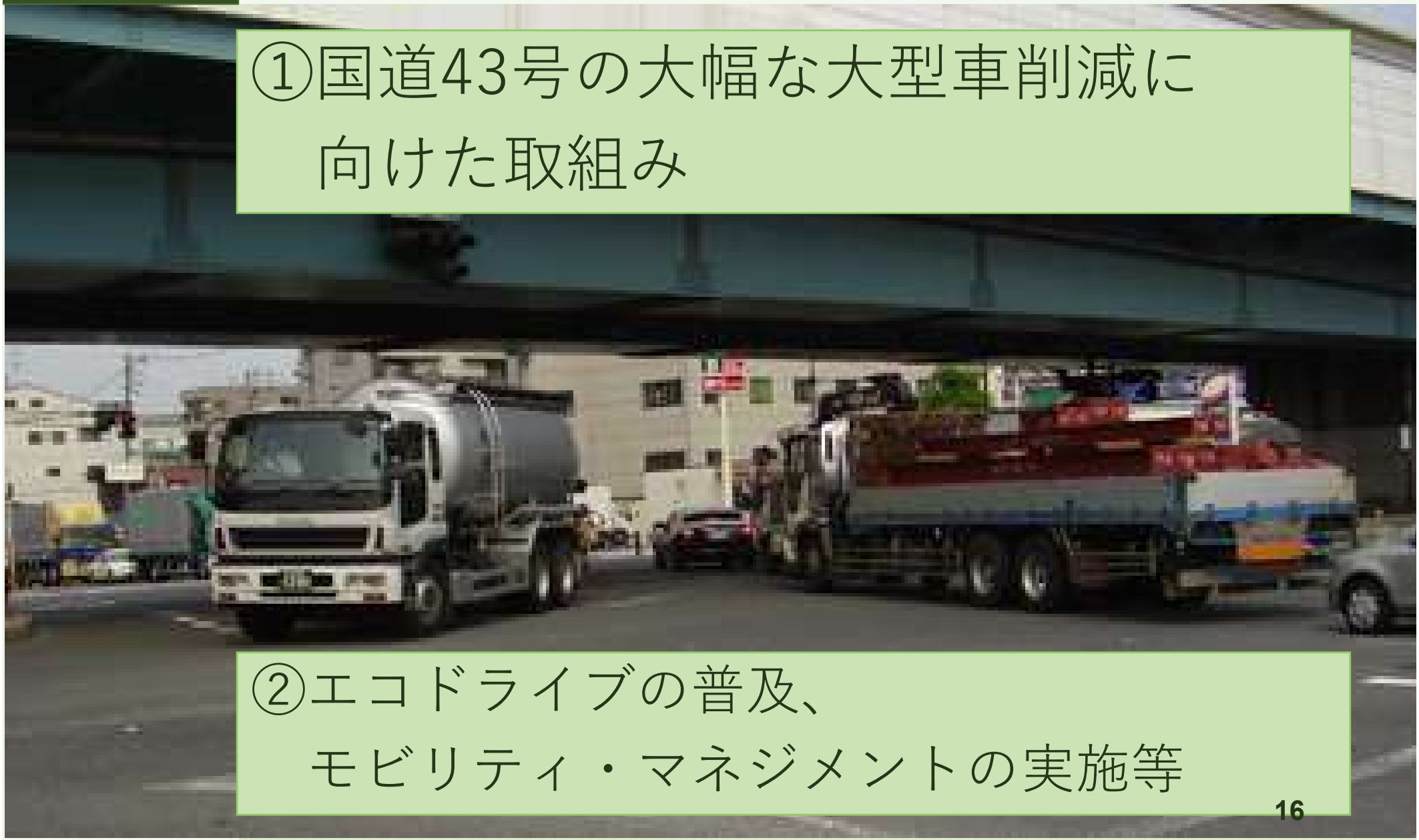
電気自動車や燃料電池自動車の普及

公共交通や自転車等が中心の交通

- 電気自動車や燃料電池自動車、公共交通や自転車のベストミックスによる低炭素道路交通システム。
  - 2030年までに新車の乗用車の5～7割を次世代自動車。
  - 2035年までに乗用車新車販売で電動車100% を実現。
  - 貨物・旅客事業等の電動車の開発・利用促進：2020 年代に5,000 台の先行導入。
- グリーン物流の推進（効率化、モーダルシフト等）

国土交通省：「カーボンニュートラルに向けた道路分野の貢献について（R3.2.16）」「国土交通グリーンチャレンジ（R3.7.6).」

提案1　大型車・交通量削減を！



①国道43号の大幅な大型車削減に
　向けた取組み

②エコドライブの普及、
　モビリティ・マネジメントの実施等

提案1　国道43号の大幅な大型車削減に向けた取組み

① **削減目標・達成目標年の設定を！**

② **環境ロードプライシングの拡充**
- 湾岸線の割引、3号神戸線の値上げなど

③ **国道43号の車線削減、大型車の走行レーン指定**（走行レーンの削減）

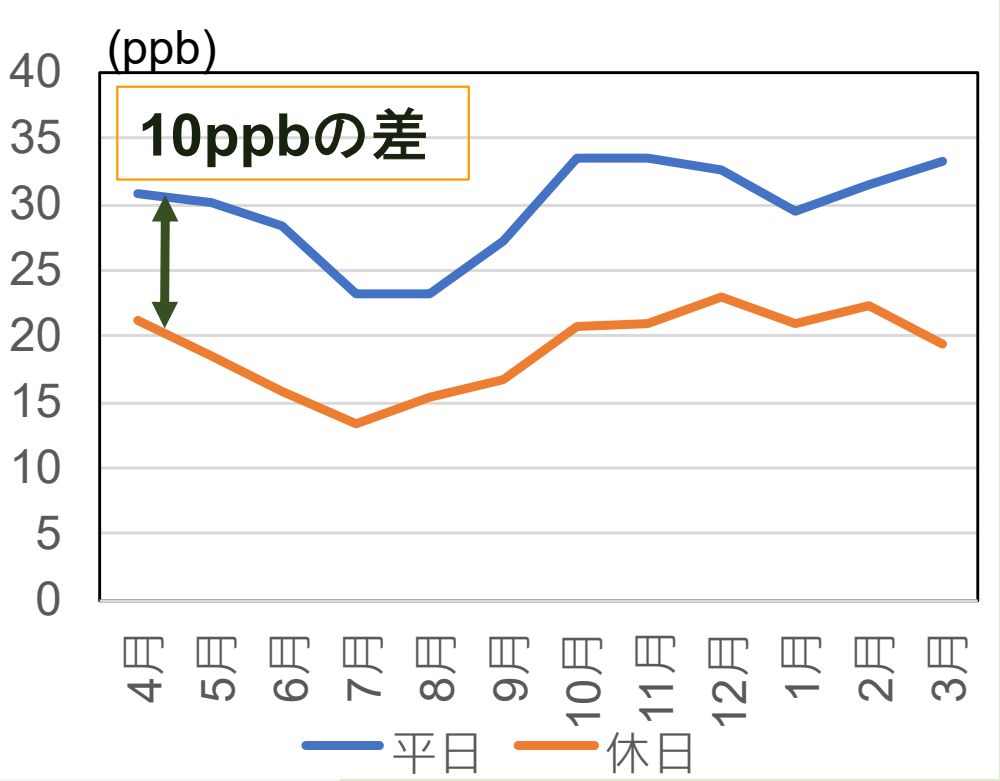
④ **大型車削減に向けた総合調査**（事業所・ドライバー対象の意向調査、より詳細な交通実態調査など）

⑤ **西淀川地域の内陸部通過交通の抑制**（国道２号・府道大阪池田線の大型車流入規制、国道43号の大型車夜間通行禁止、国道43号での環境規制強化など）

提案1　環境ロードプライシングの拡充

①国道43号から5号湾岸線への転換の促進

大和田西交差点NO2濃度（2015）



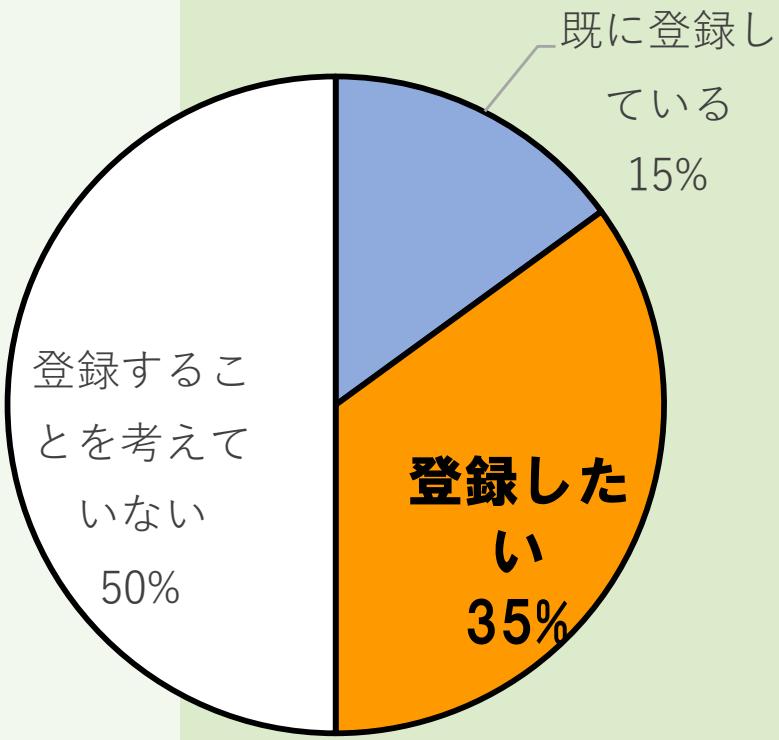
国道43号の大型車交通量（2017.12）

平日の国道43号の大型車を湾岸線に転換できたら、大気は改善！
基礎調査：国道43号を利用している事業所に対する調査

提案1　環境ロードプライシングの拡充

②3号神戸線から5号湾岸線への転換 の促進

環境RPへの登録意向
（阪神高速2018アンケート）



3号神戸線大型車交通量
14,566台／日

3号神戸線の大型車15000台の35%が湾岸線に転換可能

14,566×35%＝5,098台／日

提案1　環境ロードプライシングの拡充

③広報の拡大

- 対象事業者の把握、認知度調査
- ターゲットに合わせた情報発信の工夫
- 協力事業所に対する表彰制度
  - 環境にやさしい交通を行っている事業所としてホームページ等で公表

提案2　歩行者・自転車にやさしい交通環境対策を！

①　幹線道路沿道対策の強化

- 大気浄化、沿道緑化、騒音・振動対策、　環境レーンを

②歩行者・自転車にやさしい移動環境を

出来島支援学校周辺

提案2　歩行者・自転車にやさしい交通環境対策

①大阪府内における環境レーンの設置

②国道43号線をはじめ幹線道路を安心して走行できる自転車走行ネットワークの整備

③国道43号沿道、及び、横断に関するバリアフリー化

④大幅な沿道緑化による緑のみちづくり

⑤安心して歩ける歩道ネットワークの整備

提案2　歩行者・自転車ネットワークの体系的整備を！

車優先の交通体系

転換！

歩行者・自転車中心の交通体系

国道2号、43号に自転車レーンを

- 歩道を歩行者優先に
- 車を走りにくくし、交通量の減少を目指す
- 府、市と連携した歩行者・自転車ネットワーク整備を！

東京都足立区

提案3　人にも環境にもやさしい歌島橋交差点

人にも環境にもやさしい交差点としての整備を！

歩車分離型信号を！

例：みてじま筋

提案3　みどりの多い歌島橋交差点を！

工事前

工事後

提案3　人にも環境にもやさしい歌島橋交差点

工事前の横断歩道

提案3　歌島橋交差点の自転車での地上横断

- 自転車活用推進法（2017年施行）
  - 自転車は車道を通行することが基本
- 歌島橋交差点の地上を自転車で横断できない現状は問題

道路標示イメージ

国道2号など、自転車の直進だけでも通行できるような検討はできないか？

提案4　国道43号沿道環境を考える実務者WGの継続

- 議題整理、課題解決のためのアイデア出し、検討資料の作成などのための場とし、自由な意見交換を行う。

検討テーマ案

- **R43から湾岸線への転換手法(啓発・割引等)**
- **大気汚染と交通量に関するデータ分析**
- **歌島橋交差点のあり方**
- **大気汚染問題への啓発(測定局の活用等)**

等

提案4　大気測定局のサインについて

- 大気測定局は西淀川区民に存在が知られていない。
- 地域住民の参加による測定所アート・リニューアル
  - リニューアル案の公募・審査
  - 地域住民（子ども達）の参加でアート・リニューアル

例：西淀川区内のアート・ペイントいろいろ

提案5 大気環境の改善の要因検証を

- 要因と考えられるもの
  - 環境ロードプライシングによる効果
    - 大型車が湾岸線に経路転換したことにより、国道43号、神戸3号の大型車交通量が減少
  - 単体規制の効果
    - 自動車NOx・PM法
  - 様々な道路環境施策の効果
    - 国道43号の車線削減、光触媒の塗布、高活性炭素繊維.（ACF）、緑化など
  - （PM2.5）中国からの黄砂の減少